

第11回(平成29年度)受賞者の紹介



③9 学校法人 千葉学園

建

(学食棟「The University DINING」の設計・建築)

外壁の3方向をガラス張りにする事で外との連続性や開放感を持たせるとともに、周囲の木々と調和するように天井の針に効果的に木材を配置し、自然採光や自然通風による居心地の良さを演出している。



④0 千葉商科大学

啓

DINIG SERVICE DESIGN LAB

(「Fotolog in Ichikawa」による景観啓発活動)

学生自らが探し出した「市川市の優れた景観資源」をチェックポイントとして巡ることで、市内外の参加者に対して今まで気付かなかった市川市の魅力を知ってもらうきっかけとなっている。



④1 ハイタウン塩浜第一住宅管理組合 花クラブ・環境ボランティア

緑 清

(植栽管理活動及び清掃活動)

公道に面した生垣や花壇のガーデニング活動、周辺河川沿いの清掃・美化活動を実施し、良好で彩りある団地環境の維持・向上、周辺の安全・安心なまちづくりにつながっている。



④2 高松建設株式会社 東京本店

建

(共同住宅「Nextage」の設計・建築)

道路に面する建物外周部に緑を配置することで、向かいの公園と合わせて緑豊かなまち並みを形成している。バルコニー手摺をガラス張りとする事で透明性を確保し、閉鎖的な方向性の世情の中で生活風景が見られることは防犯にも寄与する。



④3 ポラスガーデンヒルズ株式会社

建

(「モダンカーサ市川市大和田四丁目景観協定」
の締結によるまちづくり)

市内で3番目となる景観協定を締結。住民だけでなく通る人も緑や花、実のなる木などの自然を感じられる仕掛けでまちの広がりを演出している。また「まち開き」の開催により住民同士のコミュニケーションの創出や植栽や花壇の手入れなどのアドバイスによる緑化への意識醸成など、魅力的なまちへとつなげる活動を行っている。